

# 新飯能

発行  
日本共産党  
飯能市委員会  
973-1091

金子とし江  
090-7265-1601  
山田とし子  
090-4389-4439  
新井たくみ  
090-4010-5650  
滝沢おさむ  
090-7000-4481

<議員団の連絡先>  
973-2111(市役所456)  
Mail jcp-sigi@  
pluto.plala.or.jp

## 公民館の有料化方針は撤回！

### 一方で市長部局の統制が強まることも？

#### 12月議会前の議員全員協議会で報告

注目される公民館の(仮称)地区行政センター化と、これと抱き合わせで提案されていた公民館の有料化について、副市長が、8日の代表者会議に「12月議会に提案することを見送り、3月議会に提案する」と報告しましたが、その詳しい内容について、15日、議員全員協議会で政策企画課長が説明しました。

市は、今年8月末の議員全員協議会で、15公民館を多機能の(仮称)地区行政センターとする方針を突然打ち出しました。その後、10月11日、11月5日まで市内全公民館で説明会を実施し、この説明会の中で、現在、原則「無料」の公民館の学習室利用について有料化の検討をしていることと、12月議会に議案として上程していくことも表明していました。特に、公民館利用団体の方々ははじめ市民の皆さんが、市のあまりにも拙速過ぎるやり方と、市民の自由な活動を制限する



それによると、「施設使用料については、現

行の公民館使用料と同様の取り扱いとします」と報告しました。まさに、市政の暴走にストップをかけた「快挙」です。

#### 公民館としての貸し館業務を廃止

しかし、一方で不安も残ります。公民館を地区行政センター化して、公民館の貸館業務を今の教育委員会の業務から市長部局の業務へと移して、公民館は、「市民活動施設」として、施設の利用許可は、市長が行い、施設を統括する組織を市民生活部に設けるとしています。つまり、公民館業務としての貸館業務を廃止するというものです。市がすすめるようとし



ている行政センター化とはどういうことでしょうか？現在、飯能市には15公民館・施設ありますが、15施設すべてを地区行政センターとするとしています。この中で、富士見公民館と名栗のあすなろ会館・ふるさと会館を除いた12公民館には諸証明の発行業務ができる「出張所」の機能を果たせるとしています。しかし、どこの説明会でも具体的なイメージ、市のビジョンというものが見えてきません。説明では、「地域における市民活動の場を提供し、市民の生活文化の向上を図るとともに地域課題の解決に取り組み、効率的な行政運営を図ることにより豊かな魅力ある地域

## 青空ともみじのつどい

11月27日(日) 午前11時～

飯能河原 会費：1000円

みんなで語り合しましょう。



日本共産党飯能市後援会

社会の形成に資するための施設とする」と言っています。ですが、どう言ってみても地域課題の解決に行政が住民をテコに使うというのが見え見えではないでしょうか？

#### 社会教育の自殺行為

確かに行政だけでなく住民が主体的に地域福祉や防災活動に参加し協働の街づくりを形成することが求められていることは確かです。しかし、これはあくまでも住民が主体的に行うもので、行政に押しつけられるものであってはならないのです。社会教育を醸成させるための公民館が、常に地域に解放されている

#### 波紋

大門さんが怒っています。民主、自民、公明、国民、みんななど各党の議員が参加する「カジノ議員連盟」が震災復興と称しカジノ解禁を狙っているからです。カジノはれっきとした賭博行為です。そのカジノを仙台空港周辺につくり、その収益の一部を復興財源にあてるというです。▼賭博行為の禁止の理由について法務省は「社会の風俗を害する行為として処罰するとされる」と答えています。大門さんはアメリカや韓国などを見ても、カジノが人間をギャンブル依存症にし、犯罪を誘発し、暴力団が巢食っていると指摘しています。▼「カジノ議連」の中心はパチンコ業界から献金やパーティー券を購入してもらっている議員です。カジノが解禁されればパチンコ業界が受け皿になり大もうけできます。その仕組みを震災復興のどさくさにやっつけてしまおうというのです。「恥ずかしい、おぞましい行為だ」と大門さんが怒るのはあたりまえです。



# 公務職場の厳しい実態を改善して

## 自治体キャラバンで担当課と懇談

15日、埼玉県労働組合連合会(埼玉労連)と市



内の傘下組合が自治体キャラバンを行い、職員課、契約検査課、商工観光課などと懇談しました。

埼玉労連は、県内12万人で構成された労働組合で、働く人々の雇用の安定と労働条件の向上、地域経済の活性化と地域福祉の充実、安心して暮らせる住みよ

い街づくりをめざして様々な県民、団体と懇談を進めています。自治体訪問もその一つで、今回が9回目となっています。

事前に送付した懇談の申し入れに沿って懇談しました。

### 実効ある「労働安全衛生委員会」を

懇談のなかで、「飯能市は正規職員と同じくらい臨時・パートが採用されている。他市と比較して率が高い。そうした中で、正規職員の病欠者(長期病欠・メンタル)が県内平均の2倍にもなっている」と指摘。「労働安全衛生委員会を実効あるものにする」ことで改善できる。ぜひ、生かしてほしい」と要望しました。

# 公民館の学習会 公民館は市民の学習権の保障につながるもの

「地区行政センター」の設置に伴い、公民館の使用料を有料にする



という説明会が開かれ、多くの市民から怒りの声があがっています。そうした中、飯能市は地労連は緊急の懇談会を10日に開催し、30人を超える市民が参加しました。

市の説明会に参加した方は、「公民館は誰でも利用できるように開放されているべきである」「公民館で趣味の活動をやっているが、

有料になったら続けられないかもしれない」と語りました。一方、参加していない方からは、「説明会があることを知らなかった。市当局には広く知らせて、多くの市民の声を聞く」とする姿勢がない

「市民の知らないうちに有料化を決めてしまおうとしているのではないか」と語りました。学習会で、講師の持

丸邦子さん(大学教員)は「公民館は社会教育法に基づいた施設で、無料であることが原則である。なぜなら、それは市民の学習権の保障につながるものだからである」「近年、行政改革の名のもとに公民館の有料化がすす

れているが、市の財政問題の研究もすすめながら反対運動を盛り上げたらいでしょう」と語りました。有料化反対の運動を強化するために5人の幹事が決まりました。

## 都市計画との整合性がない道路

### 都市計画審議会開かれる

13日、飯能市都市計画審議会が開催され、生産緑地の変更などの議題とともに、飯能大河線、久下六道線の報告が行なわれました。

飯能大河原線について「何故、都市計画道路として整備を進めなのなのか」と滝沢委員の間に、「都市計画道路に指定をして整備を進

める場合、手続き等に時間がかかるので指定せずに進める」とのことです。大河原の企業誘致は、まだ、どの様な企業が来るのか分からない中で、急いで整備を進める必要があるのでしょうか。また、久下六道線の整備についても、10月9日の住民説明会で測量につ

いては、10月9日の住民説明会で測量につ

て概ね理解を得られたので測量を始めたという報告されました。説明会では「道路を広げる事により、どの様に街の活性化に繋がるかビジョンを示してほしい」などの意見には答えず、16m幅ありきの測量が始まりますが、計画にある1・5mの停車帯については、これからの街造りでは駐車場を整備し、自転車道にすべきではの専門家の指摘もありました。

## バス路線維持は地域の死活問題

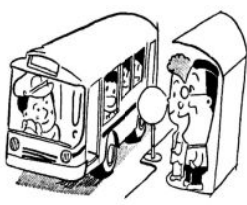
### 原市場後援会が市政報告会



時・パートなど非常勤職員が官製ワーキングプアとならないよう賃金保障すること。さらに、公務現場で働く

労働者の処遇を改善するためにも、公契約条例を制定してほしい」と要望し、懇談しました。

原市場支部と後援会は6日、新井たくみ市議の議会報告会と地域懇談会を開催しました。新井市議は、「市は市民に増税や負担増を押しつけ、住民サービスを削り、残したお金で、飯能大河原線や久下六道線のようなムダな道路建設につき込もうとし



ている」と批判しました。懇談会では、国際興業バスの飯能営業所からの撤退問題が大きな話題になり、新井市議と、党支部が取り組んでいるアンケート結果を示しながら、「バス問題は地域の重大な問題になっていること、行政と交通業者、住民が一緒に考える協議会の設置が必要だ」と強調しました。